

会長通信～活動報告～

半田市シルバー人材センター会長の活動報告を「会長通信～活動報告～」として会員のみなさま向け、不定期ですが報告させていただきます。

愛知県シルバー人材センター連合会

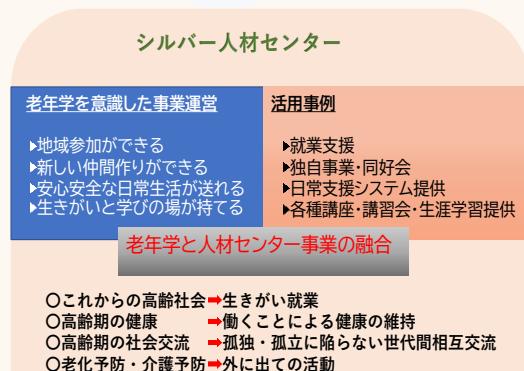
令和6年度「会長会議・トップセミナー」参加報告

開催日時 令和6年11月21日（金）13時30分～

開催場所 ウインクあいち 1002会議室

出席者 中村会長、岩橋事務局長

報 告 この会議は、愛知県下のシルバー人材センター会長・事務局長が一堂に会して、シルバー人材センターを運営していくうえで参考になる情報を共有し、よりよい方向に事業運営ができるための勉強会として実施されています。今回は、滋賀県の甲賀市シルバー人材センター理事長平田正男氏による、「老年学とシルバー人材センターの運営」と題した講演が行われました。約1時間半の講演でした。平田氏の講演資料に基づき、中村が説明用に図にしてみました。そもそも「老年学（ジェロントロジー）」とは、医学・心理学・生物学・経済学・政治学・社会学など「自然科学」及び「社会科学」を統合して、人間の高齢化により起こる様々な変化や問題を解明研究する学問です。機能低下（生物的老化）、意欲低下（心理的老化）、社会関係低下（社会的老化）などの相互関係による生活環境への影響をどのように解決していくかということです。



目指す会員像

- ①マインドリセットができている
- ②EQ（感情知能：心の知能指数）が高い
- ③人権意識を常に心がけている
- ④最大限のリスクマネジメント能力を持つ
- ⑤生涯にわたる学びを忘れない

この老年学の考え方をシルバー事業運営に活かしていくことにより高齢化問題を少しでも解決できるきっかけ作りを提供し、高齢者の生きがいや人生設計に役立ててもらうということが、シルバー人材センターの大きな役割であり、期待されていることだといえます。

甲賀市シルバー人材センターでは、老年学の考え方を中心長期計画に盛り込んで、会員の方々に事業提起をされてみえるようです。ホームページをご訪問ください。人生100年時代の生き方をシルバー事業を通して、今一度、振り返り、考えてみることも必要かなと感じました。

その中で、平田氏は、会員の将来像（なかなか難しいのですが）を示されました。大変重要な姿勢であると思いましたので、最後にお示しし、会員のみなさまの心にとめておいていただければ今回のセミナーに参加した一つの成果になるかと思います。

平田正男氏

「ジェロントロジー・コンシェルジュ」有資格者

→一般社団法人日本応用老年学会提供の「ジェロントロジー検定試験」

※マインドリセット：過去の仕事の話をするより、心をリセットし、趣味の話で情報交換

※EQ：相手をリスペクトできるところを見つける

※リスクマネジメント能力：聞いてなかった、知らなかった、忘れていた、はNG。予めリスクを想定してコントロールできる仕組みを事前に準備